

夢・モモ・ゆう・機関車後援会だより

NO. 19 2008 年 9 月

ショップテナント募集！年賀寄付金事業に

夢飛行、モモの家、機関車のリサイクルショップが、年賀寄付金事業（郵政事業株式会社）に選ばれました。今年度 468 万円を配分いただきます。

既に重い障害を持つ利用者さんと地域との交流拠点と位置付け、洋服や雑貨を販売していますが、今回は、「グローバルな環境を創出するリサイクルショップ」というコンセプトを打ち出しました。

ショップの一部を地域の方々にテナントとして貸し出し、利用者さんとの交流を図る一方、ワーキングホリデーで来日した外国人青年をショップに配置して、ローカルな場所でグローバルな活動を目指そうというもの。どなたでも出店者できます！また寄付物品を受け付けます。お気軽に事務局までお電話ください！お待ちしております。（06-6656-1280）



クラブに府福祉振興金！



地域の子供たちとの交流を目指す「Tamariba クラブ」には、「大阪府福祉基金地域福祉振興助成金」から助成金 85000 円をいただきました。

今年度の Tamariba クラブでは、ジャンボしゃぼん玉を作ったり＝写真、スライム作りに挑戦するなど 4 回の活動を行います。3 年目を迎えて参加者も増え、毎回たくさんの子供たちの歓声がフリースペース

Tamariba に響きます。11 月 8 日（土）は昔遊び、1 月 31 日（土）お面作りと豆まきを行います。参加者（小学生）募集中です。

☆協賛企業一覧☆～代金の 2～3%が後援会に寄付されます。ぜひご利用ください！

大手ツアー含む旅行全般は「**チューオーツーリスト**」0721-56-2170→担当：石丸さん

住宅新築・改修は「**吉岡建設**」0726-21-0021→担当：山本さん

リフト等の車両改造は「**ウェルビー**」072-228-2501→担当：田中さん

21世紀への航跡

～夢・モモ・ゆう・機関車の歩み⑦ 菅野真弓

「夢飛行」に見学に来られた方の感想で多いのは「家庭的」「利用者さんとスタッフの距離が近い」「雰囲気がいい」というもので、その中でも多いのが「家庭的」というものです。しかもこの「家庭的」という感想は今に始まったことではなく開所当時から言われてきました。当時は、そう言われることに深い意味を感じてはいませんでした。というのも視覚的に「そうだろうな」と思えたからです。

まず夢飛行の始まりは6畳2間のお茶の間の空間、次の場所は60㎡はあったものの利用者20数名 スタッフ15名、総勢30～35名がひしめき合って（肩よせあって）いたのですから「家庭的」にみえる要素は満たしていた、と思います。

しかし今尚そういう感想が多いというのは視覚的なことだけではなく、「家庭的」＝「雰囲気がいい」「利用者さんとスタッフの距離が近い」からで、それは「信頼」と言い換えることができるのかもしれませんが。場所が変わって広さが変わっても同じ言葉が聞かれるのはそういうことなんだろうと思うわけです。場所が狭くて肩よせあわねばならない中で、わたし達は知らず知らずのうちに大切なこと一互いに思いやる気持ちのようなものを学び、育み、身につけ「雰囲気」という形で表現していたのだと思います。そしてそれはスタッフが変わっても大切なこととして言葉ではなく、人の迎え入れ方、出会い方としてつながっているのだろう。と思っています。

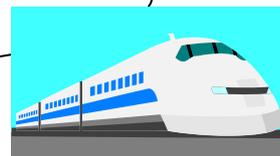
まだまだこれから難題を解決しなければならないのですが、福島区にある「モモの家」が移転の予定です。夢飛行、モモの家 機関車はどこもコンセプトはお茶の間（LDK）でした。お茶の間は共有の場であり、くつろぎの場だろうと。

そしてそこには、家族のだれもが出入りし、いろんな音 いろんな色があります。キッチンに近く食事の支度をする家族の姿をみることもできますし、においもあります。それはきっと「食欲」を刺激してくるでしょう。まさに「生活の場」なのです。「モモの家」は今年開所10年です。お茶の間という「生活の場」から少しだけ抜け出し、違う音、違う色、違う形、違うにおいを感じる場を移転には求めています。



コンセプトは、
従来の福祉は“内側のバリアフリー”でなかったか。海（社会）がよせたり、
ひいたりする浜辺の部分をハード（施設）に取り込み、利用者の地域生活支援
をハード面の設計思想から行う です（つづく）

皆さまからの声



東京旅行の新幹線で突然、お手紙いただきました

皆さまのやさしそうな姿を見て思わず胸が一杯になりました。私も 76 歳で、3 人の兄に戦死されて、現在目の不自由な兄と暮らしています。20 年前に兄は目を病み視力障害になりましたが、足が元気ですので、今日は大正村（岐阜県）に行くのです。

いつも留守番しているので、大正村のことをラジオで聞いて話してくれました。自分の町でもいろんな障害の方や老人のお世話をボランティアでして楽しんでいます。皆様はお若いので本当に感動しました。いつまでもやさしい心を忘れずにみんなに手をさしのべてください。何かのご縁があったんだとうれしくなりました。やさしい心をありがとう。皆様のご健康を心より祈ります。

ロンドンから

いつもステキな card ありがとうございます！！私事です、去年6月に15年近く暮していたオスの犬が永眠しまして、子供のいない私たちはとても悲しい思いをしました。でも日々は忙しく過ぎて行くのですね！今年知り合いからキューバ産のハバニーズというとてもかわいいワンちゃんにめぐり会うことができました。まさに我家の春であります！



日本はもう春が来ていますよね♪こちらはまだ寒いですが、草木はもう春の色です。風には気を付けて。楽しい春をすごして下さい！ ps 写真もいっしょに送ります。親バカですね。名前は「たら」です。魚の名前です！ Mr&Mrs Sakai 様

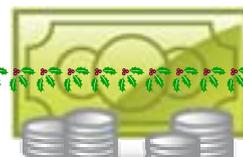
2007 年度決算～ありがとうございました～

《収入》

《支出》 07年4月1日～08年3月31日

会費	1576580	諸費用（※）	401497
寄付	279411	※後援会だより印刷費等	
預金利子	12856		
前期繰越	9426122	合計	401497
合計	11294969	収支差額	10893472

後援会発足から 8 年。おかげさまで「1000 万円！」の支援をいただくことができました



た。ほんとうにありがとうございます。08 年度は「モモの家」（福島区）の移転・改修が控えています。また念願の「グループホーム」に向け、活動も本格化します。今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

「デンマーク研修を終えて」

デーセンター夢飛行 スタッフ 小山

千恵

夢飛行に就職して3年目の春。仕事にも慣れ、それなりに責任と自信を感じ始めることができるようになってきた。そして、自分の生活でいっぱいだったのが、周りが少し見え始めてきた。節目の3年目。新人でもなければ、ベテランでもない。「何か」変化を求めている。自分の“立ち位置”を一度別の角度から考えたかった。そして、福祉に関わる人間であれば、誰しも1度は行ってみたい国、北欧の「デンマーク」に1ヶ月研修するという素晴らしい機会を頂けることになった。



デンマークは、童話作家アンデルセンが生まれた国である他に、「ノーマライゼーションの父」と呼ばれた「バンク・ミケルセン」の生誕地である。大学の授業で学んだ知識では、「ノーマライゼーションとは、障害があることは特別なことではなく、障害者が社会の中で当たり前のように生活ができるような条件を整え、共に生きる社会こそがノーマル（当たり前）な社会である」という考え方であった。この考え方は、北欧から、アメリカ、日本にも広がり、障害者福祉に大きな影響を与え、さらに障害者福祉だけではなく、高齢者、子ども、全ての分野において共通する考え方となった。

そんな福祉の発祥の国に行ける！！夢が現実となった喜びと、そんな国に、スタッフの代表として、日本の代表として行くことのプレッシャーも同時に感じていた。私なんかが行っていいのだろうか？他にもっとふさわしい人がいるのではないか？出発までそんな不安があった。

研修は、日本各地から集まった6人の研修生と共に行われた。前半は合同研修。全員でデンマークの全般の福祉を学んだ。主に福祉施設を訪問し、(デンマークは施設解体で施設と呼ばれるものはないが便宜上施設と以下表記)担当の人からお話を伺ったり、質問したりする形だった。厚生



労働省の役割を担う社会省、知的障害者作業所、自閉症施設、グループホーム、養護学校、特殊学級、デイサービス、大学病院、生活指導員養成大学、親の会、当事者の会など20施設くらい訪問した。通訳もあり、かなり深部まで踏み込んで学ぶことができた。普段では行けない所ばかりである。

また、研修が終わった後には、研修生同士で自分達の日本での仕事を交えて話をする機会もあり、とても興味深かった。同じ障害者関係で働く人たちでも、状況、場所、分野が違っている。日本の現状も一緒に知ることができた。夜、部屋に戻ってからは、1日学んだことが余りにも膨大で、頭の中を整理するため、ひたすらノートにまとめた。日によっては夜遅くまでかかったが、その時間が楽しくて、もっと勉強したくて、次の日が待ち遠しくて仕方がなかった。

後半の2週間が個人研修。他の研修生は、違う国へ自分の本来の分野を勉強しに旅立っていった。私は重度心身障害者の住宅での研修が始まった。ここは13人の住民の生活の場で（利用者さんのことを‘住民’という）、それぞれに合った生活が展開されていた。そのため住民が一緒になって行動することはない。外出する人もいれば、自分の部屋でくつろぐ人もいる。ご飯をそろって「いただきます」もない。その人に合った時間に、その人に合った場所で行われる。

個人研修では通訳がいなくなった。利用者さんと、スタッフのみ。その中での関係づくり、情報収集を行わなければならない。なんとなく過ごす2週間なんてあっという間。日本で2週間は本当にすぐだ。ここは、海外！！積極的に行かなければ。毎日、担当のスタッフを追っかけまわし、質問攻めにした。でも、利用者さんとの関係づくりには何となく自信があった、普段から言葉だけでないコミュニケーションを行っているからだ。また日本語でも必死に話しかけてコミュニケーションを取った。2週間も経つと、名前も全員覚えることができ、不思議と利用者さんやスタッフとそれなりにコミュニケーションが取れるようになってきた。別れ際には涙をこらえた。

デンマークがなぜ福祉大国と呼ばれるのか。そのことを多くの場面で実感することができた。個人支援を基本としており、その人に合った支援を行う。障害がある人も十分な金額の障害年金を受給しており、その中から、生活費、住居費、税金を自分で支払って生活している。また、デンマークの福祉の元金ともなるお金は国民の税金からまかなわれていて、医療費、教育費が無料で提供される。65歳以上になると年金も全国民に支給される。生涯における不安要素が解決されている。その根本にはノーマライゼーションの考え方が浸透していて、障害者や高齢者などは、国民すべての問題であり、自分達の問題と捉える「連帯感」が浸透しているのである。そのため、25%の消費税でも国民は支払うのである。デンマークの利用者さんは、自分の生活に自信を持っていて、常に自分の生活を大切に考えている。旅行、仕事、趣味、とても充実している。そのサポート体制がしっかり

していた。

研修の間、進んだ福祉制度に感心するのと同時に、日本の福祉について、日本の利用者さんについて考えるきっかけとなった。普段当たり前だと思っていることが、当たり前ではないこともある。何も疑問に思わずに、当たり前だと思っていたことがたくさんあった。どっちがいい、悪いという問題以前に、別の視点から、現状を見ることはとても、良いことだと思った。また、海外で暮らすという体験を通して私自身も、いかに日本で人に助けられ、支えられて生活していたかを実感した。私がこの研修を実現できたのは、利用者さん、職場の仲間、家族の協力があってこそ。この場をかりてお礼を言いたいと思う。

2007年4月15日～5月17日の約1カ月間、「重症心身障害者の地域生活について～障害者側の意識と国民の受け入れ意識、支援の実際」をテーマにデンマークで研修を行いました。研修費用約70万円は(社福)清水基金より援助いただきました。お礼申し上げます。

元ワーキングホリデースタッフ ジョン・ハリヨン

皆さん、暑いなかお元気ですか？

夏は毎年やってくるのに、私はいつも初めて経験するかのよう
に疲れたり嫌になったりします。そう言えばモモの家で働いた時
からもう5年がたちました。それで私をご存知でない方もたくさ
んいらっしゃると思いますので、自己紹介をさせていただきます。



2003年にワーキングホリデーでモモの家で働いたジョン・ハリ
ヨンです。当時は19歳で日本語は前から勉強していましたが今ひ
とつで、仕事も生活もまだしっかりしてなかったと思います。ワ
ーキングホリデーを終えて韓国に戻って大学に復学してからまた
留学、今は立命館大学の産業社会学部人間福祉学科の4回生です。この7月に2年間の学
習を終了して帰国します。

私がモモにいた時はちょうど支援費制度が始まった頃です。その前のモモの家を知りま
せんが、たぶんお泊りをはじめたり普段の利用時間が増えて、みんなは生活の変化でいろ
いろ大変であったと思われる。でもプールや野球を見に行ったり、クリスマス会など楽
しい思い出がいっぱいある幸せな経験でした。

韓国に帰ってからはソウルで、障害を持つ人々の自立生活にかかわる活動をしていまし
た。元々日本学を専攻しましたが、のちのち福祉をしっかり学ばなきゃ、と思っていまし
たので留学することを決めました。重点的に勉強したのは「制度が障害者とその家族にど
れほど影響を与えるか。」についてです。一見、理論的に見える話ですが、問題意識を持っ
てそれに対する働きをすることで、当事者の生活は大きく変わるんです。

私は立命館大で筋ジストロフィーという筋肉の障害を持つ学生と出会いました。体を動
かすことが出来ず、気道に直接呼吸器を付けています。病院から学校に通う事の難しさを
知ってから、仲間とボランティアサークルを組んで活動しました。自宅で生活したい本人

の意思がありましたが、なかなか大変な状況でヘルパーを派遣してくれる事務所が少なかったんです。それでヘルパーを募集したり、我々が資格を取って事務所にアプローチすることで自宅に戻り、今も学生生活をサポートしています。

さまざまな出会いからたくさんの事を学びましたが、その原点にはモモの家の皆さんとの出会いがあります。短い期間ではありますが、その9ヶ月間の経験から「どう生きるべきか？」という自分への問いかけのヒントを得た気がします。

これからもずっと障害を持つ人々と共に、福祉の現場で働きたい夢があります。どこでどんな仕事をしていても心の奥で、皆さんと一緒にすごした日々を忘れずに頑張りたいです。またその時にどこかでお会い出来ることを期待しています。(原文ママ)

ご継続ありがとうございました！ 会員継続の皆さん。敬称略

07 年度中橋弘晃 神童俊雄 大浦登喜子 岡崎正子 西田フミ子 瀧山恭子 三島隆一郎 北徳

太郎 新垣良悟 伊藤甚造 伊藤康夫 大川美代子 小澤文恵 高井靖明 高橋満穂 森江行雄 宮

本謹 原田啓司 神崎修 新垣美佐子 岸桂子 福井一弘 上原悌江 西山廣司 原田進 谷彦範 玉城敦子 金本

京子 松井延子 鶴田久美 青木康 牧迫民子 迫田吉生 岩藤博明 島田政子 秋田正信 (有)ウェルビー 黒瀬紀

久子 橋田有造 林均 山内鉄夫 高野郁子 溝口洋子 田中幹衛 武居友子 田中貞子 杉本マリ 磯村由季 伊

藤紘 伊藤佳代 伊藤詩織 今北静 仲谷アヤ子 中南美千子 山谷喘 川仁美 神崎真理子 高勿茂 魚井昭彦

原田浩 田端淳恵 武内要三 小野幸子 古野宗代子 新垣良恵 中野順子 工藤ひとみ 井浪淳夫 吉本弘 竹森

久起 伊藤真美 喜多庸雄 飯田香久子 亀井浩司 神田美穂 富田恵美子 前畑常男 和田和子 山田公夫 島森

さきみ子 勝山欣哉 高津由之 貫野旬子 古川紀夫 橋田恵美子 森智子 奥野吉清 太田勅正 進藤多代 太田徳

子 小角隆 福井博子 吉村英子 楠本恵亮 太田勅正 高野繁 瀬戸恵利子 酒井佐和子 村田紀子 橋田友美

西田淳 匿名希望2名 三井弘・孝子 中西雅裕・孝子 片岡義治 仲地弘 浅井初美 中川直子 岩戸美津江 前

田賢治 木立和子 山口勝蔵 岩本清 井岡和美 光野浜子 北川昭子 南部信子 斎藤雅子 有尾雪江 向井万里

子 山脇三知子 勝野俊一郎 山崎良信 加藤ヨセツ(株) 加藤世里子 山本裕行 吉岡建設(株) 萱野加津夫 匿名希

望1名 吉田肇 太田幸子 藤田洋士 橋田国身 岡田満喜子 今宿幸男 福井克次 高橋紀代香 岡本潤和 麻生

美津代 光安寿三郎 高勿富榮 山本春代 山崎康子 山之内春子 谷村圭造 菅洋子 根田由美子 大井知子 山

口宗一 菅野裕史 山下淑子 小林一三 小林すづ 福田裕久 田中弘子 西弘太 夏川町子 阪口浩二 阪口瑞穂

五味侑子 神童美代子 清水洋子 三井忠 米丘幸穂 井村広道 渡辺数恵 葛川久美子 橋田奈穂 森下浩次 青

木フミ 脇田顕辞 篠田喜美夫 笹田智佳子 藤原尚美 サカイヒサエ **08 年度**成田美枝 山川瑠美 山地はる

み 西村英八郎 今中正己 安藤まゆみ 泉谷美千子 村山繁樹 有尾克ひこ 有尾かほる 藪内朝吉 藪内資子

飯野裕子 南大阪交通(株) 尾谷富美子 鈴木アリサ 堀政治 中島裕文 末次貞子 斎藤真弓 玉里光一 高橋博

子 井浪克巳 厨達夫 谷川泰治 堅田順一 井狩恵子 山崎正則 山崎陽子 山崎圭三 南部謙二 石田公德 石

田淑子 匿名希望2名 酒井伸子 谷川予枝子 西野茂 岡田和子 堀本京子 小林久子 山地雄平 大槻英夫 万

代義彦 鈴木信哉 古田幸代 藤永淳二 藤永芳子 葛川香澄 三和宏行 沢辺みかよ 榊原万友文 大宮景子 遠

田容子 森本成美 斎藤和子 乃一知子 筒井恵美子 米津節子 出野美佐子 猪尾利治 浅井美和 田邊佐千子

常松清吉 福田正人 福田純二 福田六夫 柏原トモエ 平井毅 村林節子 奥野温子 福島和子 齊藤治 山中富



美男 中村光志 殖栗美和子 池田峻 石川典子 東田幸雄 濱崎幹広 濱崎道子 杉本幸一 片山トキエ 永和信用金庫 (有)ニフコ 木立和子 田端悦子 宮部秀和 オオタ整骨院 小林裕子 中恵美子 松井眞 永野明秀 木村朋毅 山中和男 伊藤詩織 八木秀雄 八木敏子 平田雅美 平田清子 平田美子 浅井義行 中東妙子 伊藤紘 伊藤佳代 大槻文恵 平井義丸 西川美幸 匿名希望 2 名 井浪洋夫 森公子 田中トミエ 河合裕美 三井孝子 山口留美子 荒木節子 木村隆克 山田正雄 廣本三枝子 廣本雅也 南里泰博 梅本哲男 村山真知子 開村信雄 浅井久子 西澤武則 石原郁子 今里政義 森下美津子 山口敦子 佐竹駿弥 長谷部昭子 山之内増男 梁英子 小橋博一 有尾則彦 岩本和美 岡部泰丈 吉見基子 原田進 内間洋子 長沼奈緒子 高畑弘之 堀田治美 井木真知 前堂則子 勝山裕子 桐野耕一 大川美代子 伊藤康夫 田辺隆子 朝倉裕子 福井一弘 河野良子 山成嘉代子 親泊太助 仲宗根静子 小西孝子

ご支援よろしくお願ひします！ 新会員の皆さん。山口節郎 小佐田茂博 長田弘子 澤剛 赤石容子 矢野光子 鈴木信栄 尾谷文子 竹本博文 細野精 西川明子 小西頼子 戸田栄 真鍋秀和 古田悠子 藤田和彦 藤田正子 田代健二 田代裕子 田代裕美子 山本敏行 横谷瞳 泉谷二三子 前垣信也 前垣孝春 前垣重一 PARK・JAEHYUNG 山崎二三男

ご寄付・寄贈いただきました！ 陳任徹 藤谷雄子 熊谷キエ 菅さんを通じて寄付してくださった方々 神崎真理子 久保田正代 森智子 奥野吉清 森下美津子 吉岡建設 匿名希望 橋田国身・橋田恵美子 豊田良平 中安絢子 スタッフ一同 濱拓士 赤松須美子

退会。長年ありがとうございました！ 藤谷雄子 小谷早苗

♪プロレス観戦♪



空中を舞ってキックするレスラーにびっくり！マットの音が間近に響き、鼓動が高鳴るのが分かります。プロレス「ZERO-1」(ゼロワン)にご招待を受け、8月23日、大興奮の観戦ツアーを組みました。これって、爽快な興奮??!!

♪歌手、続々…♪



左から、フィリピンのリンダ・コラソンさん、米国・ケンタッキーからゴスペルグループ「ケンタッキー・イマニ・バプティスト・シンガーズ」、日本のソプラノ歌手・高木ひとみさん。皆さん、素晴らしい歌声を聞かせてくださいました！ありがとうございます♪

【後援会よびかけ人】 犬伏一人(読売新聞記者) 羽柴修(弁護士)
富田佳志(朝日新聞記者) 小西威史(月刊「ソトコト」編集部) 堀内正美(俳優)
増田耕一(毎日新聞新規事業開発室長) 松本賢志(時事通信記者)

山沖之彦（プロ野球解説者） 梁英子（ヤン・ヨンジャ 弁護士）

▼その笑顔を見て、私は「なぜなんだ!」。北京五輪・女子柔道の表彰式。その選手の笑顔は、銅メダルながら、他の表彰台を圧倒するほどに輝いています。

▼柔道競技で初めて母国にメダルをもたらしたとテレビは説明しますが、常人には想像もつかないそれまでの努力の成果を、自身にほめてあげているように私には見えます。

▼彼女のブログを見つめました。世界選手権は勝つことだけが目標。しかし、五輪は世界から様々な競技・選手が集う平和の象徴。大きなケガを乗り越えその舞台に私は立った! ロンダ・ロージー。一本取られた私にも、笑顔の秘密は米国から届きました。

発行：「夢飛行・モモの家・ゆうのゆう・機関車」後援会 郵便振替口座 00900 - 4 - 157766

E-mail info@yourwing.org 年会費 1口 3000円（個人） 10000円（団体）

〒557 - 0042 大阪市西成区岸里東1の5の25

「特定非営利活動法人 W・I・N・Gー路をはこぶ」内 TEL 06-6656-1280

法人ホームページ <http://www.yourwing.org>

後援会ホームページ <http://www.h7.dion.ne.jp/~yumekoi>（夢来い）